

太田川「川のふるさと整備構想」について

建設省 太田川工事事務所	正会員	堂薗俊多
建設省 太田川工事事務所		先灘啓二
建設省 太田川工事事務所		○三原康宏

1. 【はじめに】

太田川は中国山地の冠山（1,339 m）を源とし、下流域では百万都市広島のデルタ地域を形成して海へと流れ込む。川の自然と営みは、人々の生活と深く係わりながら地域の風土を形成してきた。川は流域住民の文化と感性の源であり、その中で暮らす住民は太田川の「社会的・文化的価値」を自ら育んできたと言える。こうした地域文化の源である「川のふるさと」に感謝しつつ、その資源を発掘・活用して流域の活性化と上下流の活発な交流・交歓の場を構築しなければならない。その具体的な活動方針を検討するため川のふるさと整備構想策定委員会を組織した。広島工業大学の金丸昭治教授を委員長とし、5回にわたり委員会を開催して「川のふるさと整備構想（案）」を策定した。

2. 【川のふるさと整備構想（案）】

1) 基本コンセプト

川のふるさと整備構想では、下記の基本コンセプトを設定した。

“太田川を通じた上下流双方向の交流活性化と地域振興、ひとつづくり”

コンセプトを実施するため、下記のキャッチフレーズと4つのテーマを設定した。

キャッチフレーズ “太田川を縛とする共生に向けて”

4つのテーマ

- | | |
|---------------|--------------|
| ・自然：自然との対話 | ・文化：文化への探訪 |
| ・交流：ふれあいの場づくり | ・情報：流域情報の受発信 |

具体的な活動メニューの検討にあたって、3つの視点を設定した。

- ・育成面：「川のふるさと」のあり方を考える人材の育成、組織づくり。
- ・情報面：「川のふるさと」を分かり易く発信し、情報交換を活性化させる。
- ・行動面：「川のふるさと」を体験する場の整備と流域の保全。

2) 流域の資源活用の方策

4つのテーマに関わる流域の資源を活用した活動を下記のようにまとめた。

自然：自然との対話

天体に楽しむ、生息生物に楽しむ（エコツアー）、地形・地質を楽しむ、アウトドアライフを楽しむ、流域の温泉を楽しむ、川そのものに楽しむ、

文化：文化への探訪

流域の歴史に親しむ、流域の文化に親しむ、伝統文化を楽しむ、

交流：ふれあいの場づくり

生活を体験する、太田川沿いのJRの利活用、リバーウォーク、モリウォーク、手づくり〇〇体験、川辺のたまり場で憩う、

情報：流域情報の受発信

各種情報誌の発行、太田川ホームページの開設、人材バンクの開設、

こうした活動を支援し充実させるために必要な環境づくりのため、3つの視点に対応する基幹的整備として「水と緑のネットワーク」「リバーステーション」「太田川流域振興交流会議」の3つを位置づけ、これらを補完する形で繋いでいく地域での具体的な展開を育む拠点的なものを補完的整備として位置づけを行った。

これらの基盤整備を活用することにより、個々の個別整備はより多彩なメニューへと展開し、地域及び地域相互の係わりの中で定着していくと考えられる。

3. 【構想の実現に向けて】

本構想を実現して行くにあたっては、行政組織、各種団体、民間企業、任意団体、地元生産者、来訪利用者等の間で太田川を絆として共生していることを認識し、各部門の役割を明確にし達成すべき目標として「川のふるさと整備構想」に体系的に取り組まなければならない。そのため各部門と取り組みを有機的に連携していく横断的組織である「太田川流域振興交流会議」を主体に、「太田川サミット」や「川のふるさと整備構想策定委員会」と連携し「太田川流域振興交流会議」を充実させ、本構想を具体的にフォローアップしていくことが必要である。下図にフォローアップの体系図を示す。

太田川流域振興交流会議は、その支援手法、内容として以下に考えられるものをあげる。

- ・交流会、河川愛護団体等への支援。
 - ・河川の現状や各種団体の活動状況等の情報提供・情報受発信、
 - ・川のふるさとの活動を充実させていける人材の人づくり
- 本構想の実現へ向けて、すぐにでもできるものから具体的に積み重ねることが、より実践的な啓発に繋がる方法論を重視する。

4. 【終わりに】

当委員会は第5回委員会における構想（案）の策定で一区切りを迎ましたが、引き続き各種の活動に対し、ご助言やご指導を頂けることとなりました。本構想（案）の策定に関し、その趣旨を理解していただき、ご助力下さった金丸委員長をはじめとする各委員の方々に、ここで厚く御礼を申し上げます。

また、本構想による活動が広く地域に定着し流域住民の方達に親しまれ、「川のふるさと」としての太田川がより充実したものになっていく手助けになることが望まれる。

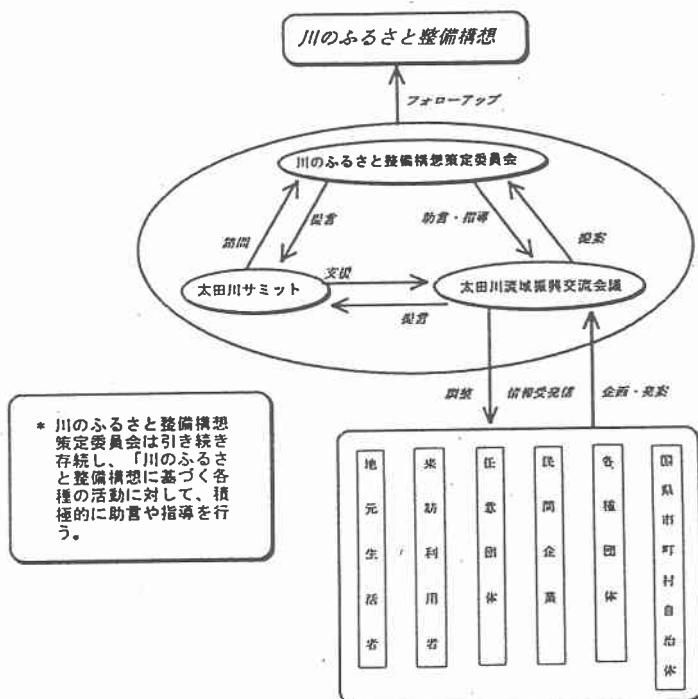


図 川のふるさと整備構想フォローアップの体系